

衆議院予算委員会ニュース

平成 21.1.13 第 171 回国会第 5 号

1 月 13 日（火）第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 20 年度一般会計補正予算（第 2 号）
平成 20 年度特別会計補正予算（特第 2 号）
平成 20 年度政府関係機関補正予算（機第 2 号）
 - ・各案及び枝野幸男君外 3 名（民主、社民、国民）提出の平成 20 年度一般会計補正予算（第 2 号）及び平成 20 年度特別会計補正予算（特第 2 号）に対する両修正案について、麻生内閣総理大臣、鳩山総務大臣、中曽根外務大臣、中川財務大臣、塩谷文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、石破農林水産大臣、二階経済産業大臣、斉藤環境大臣、浜田防衛大臣、河村国務大臣（内閣官房長官）、与謝野国務大臣（経済財政政策担当大臣）宮崎内閣法制局長官及び政府参考人並びに修正案提出者細野豪志君（民主）に対し質疑を行いました。
 - ・委員外議員（保坂展人君（社民）及び下地幹郎君（国民））の発言について協議決定しました。
 - ・質疑を終局しました。
 - ・鈴木恒夫君（自民）、江田康幸君（公明）、笠井亮君（共産）が討論を行いました。
 - ・枝野幸男君外 3 名（民主、社民、国民）提出の両修正案について採決を行った結果、賛成少数をもって否決されました。
（賛成 - 共産 反対 - 自民、公明）
 - ・補正予算 3 案について採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、公明 反対 - 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

小 島 敏 男君（自民）

- ・昭和恐慌時の対応、定額給付金を巡る議論、諸外国における経済対策等を踏まえ、経済対策の在り方について麻生内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・本補正予算に盛り込まれた地域活性化・生活対策臨時交付金について地方公共団体が適切・効果的に使用できるようにすべきではないか。
- ・今後、食料自給率を向上させていくためにどのような具体的施策が必要と考えているか。

富 田 茂 之君（公明）

- ・本補正予算に生活対策関係経費として盛り込まれた介護従事者の処遇改善のための緊急特別対策について、その内容、実効性について伺いたい。
- ・妊婦健診の公費負担を拡充することにより、必要な健診回数を確保する必要があるのではないか。
- ・太陽光発電導入の拡大策について伺いたい。特に、公立小中学校の屋上に太陽光発電のためのパネルを設置するという提案についてどのように考えるか。

川 内 博 史君（民主）

- ・平成 16 年度全国消費実態調査に基づく年収 1,000 万以上の世帯に定額給付金を支給した場合の総額はどれくらいか。
- ・高額所得者が定額給付金を使用した場合の追加的景気対策としてはどの程度の効果があるのか。

馬 淵 澄 夫君（民主）

- ・国家公務員の再就職の承認権者を、再就職等監視委員会から政令により内閣総理大臣と置き換えたことは問題なのではないか。
- ・国会の不同意を内閣法制局長官が「外的障害」と答弁したことは不適切ではないか。

高 橋 千 鶴子君（共産）

- ・現在の経済情勢や雇用情勢を麻生内閣総理大臣はどう考えているのか。
- ・雇用保険加入者のうち受給の権利があるのはどのくらいか。

保 坂 展 人君（社民）

- ・我が国拠出の国連信託基金の平成 20 年 11 月末残高が約 8 億円との事実確認及び国民への謝罪の必要があるのではないか。
- ・質問主意書や委員会質疑の答弁で存在を否定していた国連広報センター所有の定期預金の存在についての中曽根

外務大臣の見解を伺いたい。

下 地 幹 郎君（国民）

- ・本補正予算（関係法律）の成立の遅れが経済に及ぼす影響にかんがみ、早期成立に向けて修正協議を行うなど、何らかの政治決断をすべきと考えるが、麻生内閣総理大臣の見解如何。